

### 授業概要

本講義においては、まず「アメリカ」についての地理的・歴史的概念を理解します。その認識の上に立って、民族や共生の問題をテーマに、南北アメリカの問題を考察します。排外主義や民族差別の問題が国際的にもクローズアップされつつある今日、これらのテーマに関する主要概念を学ぶとともに、それらを通じて、日本との関係も含めて、アメリカ合衆国やラテン・アメリカ社会を考察することを主眼とします。

### 授業計画

第1回	「アメリカ」とは何かーアングロ・アメリカ、イベロ・アメリカ、イスパノ・アメリカ
第2回	エスニシティと人種概念について
第3回	文明と野蛮について
第4回	排外主義と人権の問題ー植民地主義との関係において
第5回	奴隷制度と三角貿易ープランテーションと「世界商品」
第6回	アメリカ合衆国における民族統合概念
第7回	ジム・クロー制度について
第8回	白人至上主義とK.K.K.
第9回	映像資料①
第10回	「アジア太平洋戦争」と人種戦争
第11回	アメリカ合衆国とアジア系アメリカ人
第12回	アメリカ合衆国とヒスパニック=ラティーノ社会
第13回	ドナルド・トランプの登場とアメリカ合衆国
第14回	映像資料②
第15回	まとめ
第16回	期末試験

### 到達目標

人種や民族を軸にした関係性と文化は不可分のものです。また、文化を巡る普遍と特殊の問題は、日本とアメリカ合衆国の関係を知る意味でも重要なもので、今後の日本社会の在り方を考える上で大切なものです。アメリカ合衆国とラテン・アメリカの関係を通して、民族や多文化主義などについて、アメリカ合衆国の現在地点を理解することを主眼とします。固有名詞や年号などを覚えることは第一義的な目的ではなく、社会を生きていく上で必要な人文学的なものの見方を養うことを目標とします。

### 履修上の注意

履修：積極的に取り組む意思が求められます。出席・遅刻等の扱いは、大学の規定に準じます。  
授業：日本語で行います。適宜映像資料も取り入れます。また、テーマによっては、少人数グループに分かれたディスカッションや発表等も行います。

### 予習復習

予習：新聞等で当該地域に関連した記事等に目を通す習慣をつけると、理解の助けになります。  
復習：ノートテイキングを怠らず、授業後に情報のまとめなどをすると、知識の整理になります。

### 評価方法

以下の方法で評価します。  
①毎週行う復習小テスト。回10点満点として、これを10回行い、合計100点とします。  
②学期末筆記試験（満点100点）。復習小テストの中から出題します。  
①の復習小テストと②の学期末筆記試験の総合で評価します。  
大学既定の出席回数を満たさない場合は、期末試験受験資格を喪失します。

### テキスト

テキストはありません。参考文献として次のものを挙げておきます。南川文里『アメリカ多文化社会論ー多からなる一の現在』（法律文化社）、大泉光一・牛島万『アメリカのヒスパニック=ラティーノ社会を知るための55章』（明石書店）